

<貝塚市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、 行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置（2校に1名配置）
主に、本の貸し出しおよび返却、本の修理、本の紹介、授業に関する本の収集、読み聞かせ、図書室の整備、図書館だよりの作成等

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

①貝塚市教育振興会 学校図書館部

概要：小中学校における学校図書館
活動の充実を図る

担当者 志禮 義隆

貝塚市立東小学校 072-422-0262

実施時期：月1回

場所：貝塚市内の小学校、
または、貝塚市民図書館会議室

内容：各小中学校における図書活動の交流
図書活動の充実にむけた取り組み

5月：市教育振興会学校図書館部会の開始

- ・部長・副部長の選出
- ・今年度の活動計画の作成

6月：「本とともにだちになろう」
(夏季休業前の配布プリント) のため
のおすすめの本の選定

7月：「本とともにだちになろう」
(夏季休業前の配布プリント) の作成

8月：市外研修

9月：8月にふりかえのためなし

10月：各小中学校における図書活動の交流

11月：図書活動の充実にむけた取り組み実践

12月：図書室の充実にむけた掲示物の交流

1月：図書室の充実にむけた本の交流

2月：年度末反省

②子ども読書活動推進連絡協議会

(学期に1回程度開催)

③学校図書館担当者会議

(学期に1回程度開催)

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・本の貸し出しおよび返却
- ・学校図書館部より課題図書を紹介と読書感想文の書き方を児童に配布(夏季休業前)
- ・図書委員による学期に1回の「読書週間(月間)」の活動(読み聞かせ、おすすめの本の紹介、しおりづくり、ビブリオバトル等)
- ・学校司書連絡会(年間4回開催)
市民図書館の館長や職員、学校司書、教育委員会指導主事をメンバーとした会議を実施

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・H29年度に各小中学校図書室にPCが導入
- ・現在は図書館の電算化に向けてバーコード管理などの準備をしている。

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・NDCに基づく10分類で図書を分類
- ・さまざまな図書コーナー(新しい本コーナー、今月のおすすめコーナー、寄贈本コーナー、作家コーナー等)の設置
- ・地域ボランティアによる絵本・紙芝居の読み聞かせなど

<泉佐野市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、 行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置
(小学校には週1回配置)
(中学校には週2回配置)

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- ・子ども読書活動推進連絡協議会
- ・学校図書館担当者会議(学期に1回程度開催)

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・保護者、地域向けに学校図書館ボランティア募集のチラシを配布
- ・中学校図書館の夏季休業中における校内開放
- ・図書委員（文化委員）によるオススメ本の紹介
- ・各学校の図書担当者がオススメ本の紹介文を作成し、まとめ、リーフレットを夏季・冬季休業前に児童・生徒に配布
- ・本の貸し出し・返却

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・市内中学校2校のみ電子化

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせなど
- ・図書委員（文化委員）による地域での読み聞かせ

<泉南市>

1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置は、泉南市で2名、3か月ごとにローテーション

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- ・子ども読書活動推進連絡協議会
- ・学校図書館担当者会議
(学期に1回程度開催)

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・日々の貸し出し業務<各校> ・長期休み前に一人2冊貸し出し。
- ・委員会のポスターや図書委員会による本の紹介
- ・図書館だよりの発行
- ・ブックカバーをつける(教員による)
- ・課題図書循環
- ・移動図書館(図書室の本をいつでも教室で読めるように20冊程度廊下においています。委員会の際に本を入れかえる)
- ・図書室の季節掲示

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・貸し出しは手作業
(委員会の児童による貸し出しの為)
- ・電子データにして管理<各校>

4. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせ
- ・PTA会費からの図書費の援助

<岸和田市>

1. 学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

24校に図書館コーディネーターが、週に2日、合計12時間ずつ配置されている。(2校に1人)主に、読み聞かせ・ブックトーク・本の紹介・選書・本の貸し出しや返却・本の整理や修理等の活動をしてきている。この週に2日、合計12時間ずつ配置により、児童の読書活動の幅も広がり利用も増えている。常時配置を希望。必要に応じて、岸和田市立図書館から本の貸し出し、地域によっては、岸和田市立図書館からなかよし号巡回

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

3. 学校図書館の具体的な活動例について

『読書の木』活動

6月上旬に二週間ほど読書期間を設定し、その間に5冊以上読んだ児童に葉をかたどった用紙を渡し、クラスと名前、おすすめの本を記入してもらい、図書室前の掲示板に掲示している木の幹に貼っていく。児童の読書活動推進を目的に行っている。(八木北小学校 前田)

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

Win書庫vr.4を使用している学校もあれば未だにvr.3等を使用している学校もある。バージョンをアップグレードする際に、蔵書を引き継げないといった問題があり、うまく活用できていない学校もあると報告を受けている。

<阪南市>

4. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、 行政からのサポート

- ・学校図書館専任司書の8月勤務が10日間確保、新学期に向けての準備ができるようになった。
- ・図書館設備について、危険な書架などの修理や改善が各校において施され、安全面での大きな問題がなくなった。
- ・読書センターの機能充実だけでなく、学習センター・情報センターとしての環境整備を今後進めていくために、今後も1校1名配置を目指していく。
- ・学校図書館を中心として、図書館だよりの発行や読書週間、読書マラソンなど、工夫した取り組みを考え、読書推進に繋げてきた。
- ・全小中学校に「よみうりKODOMO新聞」、全中学校に「よみうり中学生新聞」の配置、日刊紙各学級数分の配置

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

阪南市子ども読書活動推進協議会

民間団体	はんなん子育てネットワーク代表
	子どもNPOはらっぱ代表
	社会福祉協議会代表
	阪南市子ども文庫連絡会代表
阪南市みんなの図書館を考える会代表	
学校関係	泉鳥取高等学校代表
行政関係	福祉部こども家庭課代表
	健康部健康増進課代表
	生涯学習部学校教育課代表
	生涯学習部生涯学習推進室代表
生涯学習部図書館代表	

3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・市教委主催研修
学校司書研修（年間10回程度）（教育委員会+学校司書）

4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・全小中学校で電算化
（H14年から導入：H27年度9月から新システムに入れ替え）
蔵書データについては、バーコード管理しているが、書誌データは手入力している。

5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・学校図書システムについて、小中学校がネットワークでつながっており、相互貸借をデータ管理できる。
- ・学校司書が主となり、学校司書研修を計画、実施している。研修の内容によっては、市立図書館との合同開催もある。